

2022年度 活動報告書

〈活動期間：2022年4月1日～2023年3月31日〉



明治学院大学同窓会



明治学院大学同窓会
第6期会長 山本 好政

日頃より大学同窓会の活動にご協力、ご理解を賜りありがとうございます。

2022年はコロナ禍ではありましたが少しずつ制限も緩和され、運営委員会はほぼ対面で開催され運営委員はお互いの意思をより通じ合う事が出来ました。

対面で開催された白金祭への参加、各クラブが努力を重ねている姿を試合会場にて応援する事もできた皆さんの感動を頂きました。

現役学生への就活支援「キャリア応援イベント」も初めてハイブリッド方式にて開催し過去最大数の現役学生、同窓生に参加頂きました。

イベント終了後各講演者を囲んで質問等を聞いている光景を見て、これこそ対面の意義があると思いました。

今後も大学同窓会は「現役学生支援」「現役学生と同窓生との親睦、交流」をテーマに活動を続けていく所存です。

I 活動の概要

2022年度明治学院大学同窓会の活動は基本方針である「同窓生の親睦・交流」・「現役学生への支援」を今年度においても、《Do For Others》の精神を継承すべく、いまだコロナ禍が収束しないなか、すこしでも現役学生の役に立つことを第一に考え活動してまいりました。

今年度は第1回運営委員会（4月5日）より白金キャンパスや貸会議室を利用しながら原則月1回の運営委員会を12回開催し、今年度の運営委員の出席率は83%でした。

そのなか、今年は公認4団体各クラブやOB会の活動も制限付きではありますが、徐々に解禁され、その活動に大学同窓会として学生に勇気づけられることができればの想いで、箱根駅伝関東学生連合チーム第7区（榎本君）、女子バスケットボール部第1回青山学院大学との定期戦及び入替戦、野球部入替戦3試合、応援団「白金の集い」・グリーン・リーヴスOB会合唱団演奏会の応援に駆けつけました。

毎年、11月1日～11月3日に開催される白金祭は3年ぶりに白金キャンパスでリアルに開催されるということで、初めての経験ではありますが教室を借りての出展を決定し、5月からスタートした「白金祭参加団体説明会」のすべてに参加し、白金祭実行委員会の学生とも連携を図ることがで

きました。教室内では大学同窓会の組織・活動内容の展示パネルを新規に制作するとともに2023年1月21日に開催される就職支援の「キャリア応援イベント」の開催告知を重点に運営委員5名が連日交代で、学生・父兄・同窓生・入学志望の受験生親子に告知を広げ、準備していたノベルティも底をつく盛況さでありました。

今年度も大学同窓会最大の重点項目である「キャリア応援イベント」を2020年1月同様に横浜キャンパスにて横浜国際学会（YISA）の協力を得ながら、2023年1月21日にリアルとWEBでのハイブリッドにて開催いたしました。

講演では卒業生で実績のある外部講師に加え、大手企業で活躍する若い卒業生3名による就職活動の実体験や対策について、参加している学生と活発な討議が重ねられました。また、村田学長にも最初から最後までWEB上でご参加くださり、心強いご挨拶を頂戴しました。今回、ハイブリッドという初めての試みでしたが、引き続きバージョンアップに努めて参ります。開催にあたり横浜国際学会・校友センター・キャリアセンターの多大なご協力がありましたこと、この場を借り心より御礼申し上げ、2022年度の大学同窓会活動が終了いたしました。



II 主な活動

1 2022年度白金祭参加報告

2022白金祭 大学同窓会の紹介と展示

今年の白金祭は、11月1日から3日まで、白金キャンパスにて3年ぶりに対面でおこなわれました。

第1回の白金祭参加団体説明会は5月25日におこなわれ、我が大学同窓会も参加を表明しましたが、コロナ前のようなパレットゾーンを使った生演奏と喫茶を提供するLive & Cafeはできないということになり、それではいったいどんな内容でやるのか、という議論から始まったのでした。

私たちは何をやりたいのか、できることは何なのか、という行動の原点に立ち返って、話し合いを重ね、「教室展示」という形で「大学同窓会とはどんな団体なのか、今までどんな活動をやってきたのか」をわかっていただき、今年度は2023年1月21日（土）に計画している「キャリア応援イベント」を知ってもらい、現役学生に参加を呼び掛けることにしました。

写真などで伝えたい内容のパネルを展示し、来場者には運営委員がその説明をおこないました。特に現役の学生にはキャリア応援イベントの案内をしました。そして、来場の記念として明治学院グッズ（クリアファイルとボールペン）をプレゼントしました。

このような催しは初めてのことであり、またコロナウィルス感染拡大防止のため来場者は人数制限の予約制であり、現役の学生たちの参加者がどのくらいになるのか、当日になるまでどのような雰囲気になるのかさえ予測が困難でしたが、150セット用意した明学グッズは2日間でなくなり、3日間トータルの来場者は278人になりました。



立て看板

「教室展示」以外で

も、白金祭実行委員会のホームページに大学同窓会の広告を、WEBパンフレットには案内を載せ、大きな立て看板やポスターを使ってキャンパス内にもアピールしました。こうした宣伝は今までもやってきましたが、教室に来てくださった方々とお話をすると、明治学院の同窓会システムの複雑さを多くの方がご存じなかったことを知り、実際に話をすることの大切さを感じました。

また、白金祭実行委員会の学生たちとも何度も話しあって一緒に活動できたことで、お互いをよく理解し合うとても良い機会となりました。

明治学院大学同窓会運営委員 白金祭担当
飛木かおる



展示1



展示2



展示3



熱心な説明



島崎藤村生誕150年動画PR

2 キャリア応援イベント2022

2023年1月21日(土)に、「コロナ禍の就活をどう勝ち抜くのか～キャリア応援イベント in 横浜キャンパス」が開催されました。

従来のキャリア応援イベントは、同窓の歌手や応援団の演舞などを見て賑やかに交流会の一部として、白金キャンパスにて在校生と同窓生が就職活動や業界の話をするかたちで行ってきました。また、横浜キャンパスにおいては、このイベントのみ切り離して、2020年1月に横浜国際学会(以下「YISA」ワイサ)との共催で実施しました。

2020年2月に豪華客船で新型コロナが確認されてから、就活や同窓会の在校生支援が様変わりしました。前回(2021年12月5日開催)、前々回(2020年12月6日)のキャリア応援イベントは、八芳園を会場にしてリモートで行いました。

今回は、二度目となるYISAと明治学院大学同窓会の共催にて、リアルとリモートのハイブリッドにより、横浜キャンパスで開催しました。来場者は44人、ズーム参加者は60人でした。

内容は、1. 学長のお話、2. 同窓生の就職アドバイザーの講演、3. 就職担当教授のお話、4. 若い同窓生から就活のアドバイスです。

冒頭、村田学長から、このイベントに対し評価いただいていることや現役学生のおかれている状況についてコメントいただきました。



村田玲音学長



安東徳子さん

次いで、就職アドバイザーの安東徳子さんからは、コロナ禍の就活生は他の世代が経験した事の無い試練を経験しているゴールデン世代の強みがあり、本学の教育理念の“Do for Others (他者への貢献)”は、就活でも他大学生より訴求力もあるという力強いお話をいただきました。



三浦潤美さん

同窓生によるお話は、三浦潤美さん(2013年入学国際学部国際キャリア学科)、山中勘輔さん(2016年入学経済学部経済学科)、貝田亮太さん(2017年入学経済学部国際経営学科)の3人にいただきました。

精神的に苦しんだこと、同窓であるからこそ話せる事など、率直でタイムリーなお話に皆さんは聞いていました。会場やリモートの在校生の他に



山中勘輔さん

就活担当の教授や会場の同窓生との質疑応答が活発にありました。イベントの終了後も質疑を重ねられていました。



貝田亮太さん

次回は、どのような形式になるかわかりませんが、在校生が羽ばたく支援を今後とも続けていきたいと思えます。



Ⅲ 同窓生・学生団体・学院行事への参加

1 明治学院大学体育会野球部 首都大学野球1部リーグ昇格！

明治学院大学体育会野球部が、首都大学野球入替戦に勝利し、1部リーグ昇格が決まりました。

6月11日(土) 明学大3-0 帝京大

6月12日(日) 明学大5-3 帝京大

第1戦の様子は、こちらをご覧ください。

6月11日(土) 13:00から行われた首都大学野球入替戦に行ってきました。明学大(2部1位)対帝京大(1部6位)は日体大健志台球場で行われ3

対0で明学大が勝利を収めました。試合は1回裏上野選手のレフトへの3ランホームランで明学大が先制しました。その後何度か追加点のチャンスがありましたが、決定打がでず、この3点が決勝点となりました。投げては、大川投手が7回まで相手打線をノーヒットに抑え1安打の完封勝利でした。

(文責 大学同窓会運営委員 菊地克之)



2 硬式野球部首都リーグ1部残留

明治学院大学体育会硬式野球部は、首都大学野球リーグ1部に昇格し、秋季リーグを戦いました。

残念ながら最下位となり、2部優勝の城西大学との入替戦に臨みました。

11月12日(土)サーティーフォー相模原球場でおこなわれた第1戦。

4回裏を終わって0-6と大きくリードされました。それでも5回から反撃開始、6回に1点を失いましたが、7回終了時点で4-7の3点差となりました。そして8回に3点を奪い7-7の同点に追いつきました。しかし、残念ながら9回裏に1点を取られ、サヨナラ負けを喫してしまいました。

もう負けられない第2戦は翌13日(日)、同球場でおこなわれました。

2回に1点を先制しましたが、6回に同点にな

りました。その裏、1点を追加し勝ち越しましたが、7回表に再び同点に追いつかれました。そして8回裏、近岡選手がホームランを放ち3-2で勝利をおさめました。

いよいよ最終第3戦は翌14日(月)、同球場でおこなわれました。

2回と4回に1点ずつ取られ、0-2から5回に1点を返しましたが、6回に1点を取られ1-3となりました。しかしその裏、小沢選手のタイムリー安打と、続く石島選手のタイムリー三塁打で3点を挙げ、ついに逆転しました。そのまま守りきり、4-3で勝利をおさめ、1部残留となりました。

次の春季リーグでは1部で上位に食い込めるよう、皆で応援しましょう！

(文責 大学同窓会運営委員 菊地克之)



詳細については、
[大学ホームページ](#)をご覧ください。

3 女子バスケットボール部 青山学院大学 vs 明治学院大学 第1回定期戦

2022年7月3日(日)、青山学院大学において、第1回青山学院大学vs明治学院大学女子バスケットボール部定期戦が開催されました。

2部Aリーグの青山学院大学と、今年度2部Bリーグに昇格した明治学院大学の試合は白熱し、結果87-82で勝利しました！猛暑のなかでの熱戦に、両校の強力な応援団からは惜しみない拍手が送られました。

(続いておこなわれた、試合に出られなかった選手で構成されたハーフゲームも46-31で勝利)

初めて観戦した私も、こんなにおもしろいんだ、頑張っている姿はいいなあと感じました。また応援に行こうと思っています。ますますの活躍を祈念いたします。

(文責 大学同窓会広報委員長 立石 文)



坂下監督と同窓会原田事務局長



なお、[明治学院大学女子バスケットボール部のホームページ](#)もご覧ください。

4 女子バスケットボール部 秋のリーグ戦 玉川大学に勝利！

2022年10月2日(日) 白金キャンパスにて、関東大学女子バスケットボール 明治学院大学 vs 玉川大学戦を応援してきました。

2部Bリーグに昇格したばかりですが、秋のリーグ戦をここまで5勝2敗と好成績をおさめています。

今試合も、序盤こそ競り合っていましたが、徐々に点差は開き、76-64で見事勝利しました。これで1次リーグを2位で終え、2次リーグ4試合、そして入替戦まで頑張ってください。



ジャンプボール



坂下監督と山本会長

5 体育会女子バスケットボール部リーグ戦 2部B 準優勝

2022年11月5日(土)、駒沢オリンピック公園体育館でおこなわれた関東大学女子バスケットボールリーグ入替戦に大学同窓会から山本会長、立石広報委員長が応援に駆け付けました。

2部A昇格をかけた入替戦は残念ながら青山学院大学に74-96で敗戦しました。

緊張からか、いつもよりも固くなっているように見えたが、最後まであきらめない粘り強い姿勢は、来期以降にもつながるものと思います。

昨年3部から2部Bに昇格したばかりで準優勝となり、昇格のための入替戦に出場。

10 チームの総当たりでの準優勝は素晴らしい

です。

4年生の3人は今回の試合で引退となったそうです。

「4年間週6日の練習で頑張り大分上達して今年チームの要として活躍しました。

主務を含めて4人は稀に見る仲が良くチームワークのお手本として後輩に良い影響を与えました。」と坂下監督からコメントがありました。

来週から新チームが新しい目標を定めてスタートします。来年にご期待ください。

今後も応援いたします。



女子バスケットボール部のページもご覧ください。 <http://mgu-basketball.com/2022/11/07/>

6 明治学院大学女子バスケットボール部祝賀会

明治学院女子バスケットボール部は、関東大学女子バスケットボールリーグ戦において、

2020年度3部Bブロック全勝

2021年度3部全勝優勝、2部Bブロック昇格

2022年度2部Bブロック準優勝

を成し遂げられました。

これは誠に荣誉なことで、この快挙を讃えるとともに感謝を込めて祝賀会が、2023年3月12日(日)品川プリンスホテルで開催されました。

司会は現役の学生が担い、部長の来住野教授(法学部)や入試センターの山下次長より挨拶があり、同窓会からも山本会長が言葉を述べ、乾杯は吉田

前監督の発声でした。

和やかな歓談の後、OBOGや現役学生、スタッフの皆さんからの挨拶や謝辞と続きました。

口々に出るのは、とても楽しく練習し、チームワークが良いこと、また確実にパフォーマンスの力量が高まっていることです。私も何度か試合を見に行きましたが、わくわくする瞬間に立ち会えました。

最後に坂下監督より閉会の挨拶があり、写真撮影をしてお開きとなりました。立石 2023年度も、同窓会として精一杯応援したいと思います。

(文責 大学同窓会広報委員長 立石 文)



7 体育会ソフトテニス部男子 関東リーグ戦 7 部優勝

去る 10/1～2 に千葉県白子町において開催された「令和 4 年度関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦」において 7 部優勝 (6 部最下位校棄権により入替戦なしで 6 部自動昇格決定) のご報告を申し上げます。

ソフトテニス (軟式庭球) は全国で約 500 万人の競技登録人口を擁する競技ではありますが、世間的には硬式テニスの陰に隠れ「マイナースポーツ」の一つとされております。しかし底辺 (ジュニア層) の広い競技のため、大学から始める学生は少なく、多くは高校生までの競技者がそのまま続けているのが現状です。従って関東だけでも男子 1～11 部、女子 10 部と延べ 120 校を超える大学が参加している競技です。その中で本学は上部校のようになかなか経験者を推薦入学することができないため、一時期は男子 1 名、女子 1 名の廃部の危機も経ながら長きに渡り下部に低迷していました。最近になって、「できることから始めよう!」と、数年前より部員と OB 会が協力して「スカウティングプロジェクト」と称して独自にスカウティング活動を開始いたしました。といっても、最終的には「受験してください」のレベルではありますが、地道な活動の結果、少しずつ部員が増え始めている状況です。

戦績

1. 明学大③—2 東京大
2. 明学大③—2 千葉大
3. 明学大⑤—0 高崎経済大
4. 明学大③—2 関東学院大
5. 明学大④—1 埼玉大

5 戦全勝にて 7 部優勝 6 部昇格決定

さてリーグ戦ですが、コロナ禍の影響で丸 2 年間もの間、中止、昇降格のない不完全開催、下部独自のトーナメント戦と、部員にとっては目標の持てない辛い 2 年間でありました。その間にも昇降格のないリーグで男女とも 1 度の優勝を果たし、今回満を持してリーグ戦に臨みました。私にとっては無念の思いを残しながら卒業した若手 OB・OG たちの思いも背負っての大会であったと言っても過言ではありません。またその卒業生達が久し振りの無制限有観客開催 (春季は無観客開催) によって、大挙して会場に駆けつけてくれたこと、何よりも心強いものでした。しかしその思いは他校も同じで、初戦から最終戦までほとんど気を抜けない接戦でしたが、試合に出るもの、サポート・応援に回るもの全ての思いがこの結果に繋がったと思います。たかが 7 部とお思いでしょうが、どの部でも優勝するのは 1 校限り。それに向けて 6 校がぶつかり合うのはどの部であっても同じです。そして同じ思いで気持ちよく戦いあった他校にも改めて敬意と感謝を感じています。

これからも大学同窓会におかれましては、引き続きご支援・ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

(文責：体育会ソフトテニス部男子監督
菊地義之 (77 年度生))



8 第57回 白金の集い会

2022年10月30日(日) 港区高輪区民センター区民ホールで行われた明治学院大学応援團による「第57回白金の集い」に行ってきました。

オープニングはチアリーディング部の演技とブラスバンド部の演奏で「気まぐれロマンティック」。続いて顧問の高木久夫先生、OB会の大石尚彦会長、長崎結団長のご挨拶がありました。

第一部は、応援歌「光の園」「見よ栄冠は」「白金聖歌」をリーダー部、チアリーディング部、ブラスバンド部が一体となった応援ステージとなりました。

第二部は学内・学外団体「手話サークルぼっけ」「AcousticMinds」「アカペラサークル MusikSpiel」「専修大学応援團」の動画が上映されました。そ

のあとはチアリーディング部演技とブラスバンド部の演奏が披露されました。そして続いて実戦を想定しての野球応援が再現されました。エンディングは「チャンスメドレー」から校歌斉唱へとつながり、アンコールもあって大きな拍手の中幕が下ろされました。

今年のテーマは「協心戮力(きょうしんりくりょく)～禍を転じて福となす～」。迫力あるリーダー部、華麗なチアリーディング部、活気あるブラスバンド部、心をひとつにして力を合わせた素晴らしいステージでした。今年もコロナ禍での開催、マスク着用での演技となり“笑顔も半分”で残念でしたが、大きな元気をもらって帰りました。

(文責 大学同窓会運営委員 菊地克之)



9 2022年クリスマスツリー点灯式が行われました

2022年11月18日金曜日午後4時半より、白金キャンパスのクリスマス点灯式が行われました。

新型コロナウイルス禍の中、この2年間はチャペルにての点灯式が続きましたが、本年は白金校舎記念館前芝生広場にて小諸市立坂の上小学校生徒によるコカリナ、トーンチャイム演奏と明治学

院高等学校生徒によるミュージックベル演奏が行われ、村田玲音明治学院大学長のクリスマスメッセージと共にツリーの点灯が行われ、秋の夜空に一段ときらめきの中、式典は30分間で終了いたしました。



10 第99回箱根駅伝の応援

年の瀬が押し迫った大晦日にビッグニュースが飛び込んできました。

体育会陸上競技部長距離に所属する社会学部2年の榎本晃大君が関東学生連合チームにエントリーされていましたが、箱根駅伝復路の第7区(小田原～平塚)を走るとの情報を受け、大学同窓会運営委員に応援参加を募るメールを配信。

元旦だったこともあり、応援には大学同窓会の三役が1月3日に駆けつけることになりました。応援場所は大学指定の大磯を選択。

当日は大磯駅 8:30 集合。すでに多くの同窓生が参集。

大磯駅では柘植副学長や学生部職員が応援に駆けつけた方々の対応に追われていました。ありがとうございます。

そこで、うちわ・応援ガイド・陸上競技部作成の冊子・保護者会作成の応援タオル等応援グッズを貰い、国道1号線の応援ポイントまで皆でワイワイ言いながら10分ほど歩きました。

応援ポイントでは陸上競技部の学生・応援団のチアリーダー2名も待機しており、大磯の国道1号線から見る富士山も大きく感動。

しかし、応援は大学ののぼり禁止、旗振り禁止、声だし不可、マスク着用等規制も多いのですが、母校の学生が箱根路を走る勇姿を観れることに感謝です。

大磯では1位通過が駒澤大学、かなり開いて2位通過が中央大学、あれっ、青山学院大学が来ないねと言っていたら第7区では8位で通過、監督車の原監督が腕組みをし眼が吊り上がっていたの

が印象的でした。

関東学生連合チームは往路第1区で育英大学の新田君が素晴らしい走りだったので、それに続くかと期待はしていましたが復路第7区では20位の専修大学を追う展開ながら明治学院大学の榎本君も必死の走りを見せてくれました。

興奮しすぎたのか、大学同窓会三役はだれも榎本君の写真を撮れず大失態。

(写真は大学広報課より許可を得てお借りしました)

来年は第100回記念大会。どこかで明治学院大学の榎が見られればと胸を躍らせています。頑張り! 体育会陸上競技部長距離部門。

(文責 大学同窓会事務局)



榎本君の勇姿は大学ホームページをご参照ください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/news/archive/2022/Ad5oCnZk.html>

Ⅲ 広報委員会

例年同様、主にホームページを通じて大学同窓会が関わるさまざまな情報を中心に発信しました。

ただ、ホームページのみだと閲覧者がなかなか増えないということもありFacebook、Twitterと連動させて5年目、少しずつ同窓生の皆様に周知されるようになってきたところです。

幅広い年代の同窓生に大学同窓会の活動を知っていただくために、InstagramやLINEなども活用することを視野に入れて広報活動ができればと考えます。

主な掲載記事

- 今月のつづやき
- 同窓生の交流の広場
- 大学、学生の情報
- キャリア応援
- お知らせ



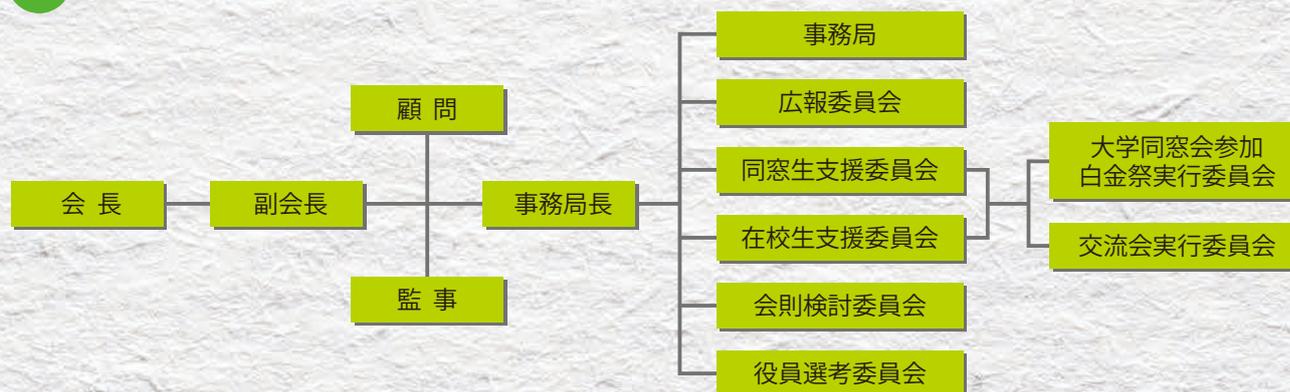
IV 運営委員会

1 運営委員会の開催

定例委員会は、感染対策を取り、オンラインを併用しながら会議を模索しおこなった。

回数	委員会	開催日	出席人数
1	第162回運営委員会	2022年4月5日	14人
2	第163回運営委員会	2022年5月10日	13人
3	第164回運営委員会	2022年6月7日	10人
4	第165回運営委員会	2022年7月5日	14人
5	第166回運営委員会	2022年8月2日	14人
6	第167回運営委員会	2022年9月6日	11人
7	第168回運営委員会	2022年10月4日	15人
8	第169回運営委員会	2022年10月25日	12人
9	第170回運営委員会	2022年12月1日	10人
10	第171回運営委員会	2023年1月10日	12人
11	第172回運営委員会	2023年3月7日	13人

2 2022年度の大学同窓会運営委員会組織図



3 第6期運営委員会役員及び実行委員会体制（運営委員 20人）

- 会長 山本 好政
- 副会長 三上 浩二
- 副会長 大石 尚彦
- 副会長 原田 健一
- 監事 大嶋 俊治 筑田 良
- 事務局長 原田 健一
- 事務局長補佐 菊地 克之
- 書記 神谷 宗祐
- 会計担当 牧野 新太郎 大石 尚彦
- 広報委員会
 - 委員長 立石 文
 - 委員 漆畑 和成 神谷 宗祐 宮城 博之 中村 崇哉
- 同窓生支援委員会
 - 委員長 井上 芳信
 - 委員 菊地 克之 神谷 宗祐 中田 孝彦
 - (交流会・キャリア応援イベント)
 - 実行委員長 檜原 泰一
- 在校生支援委員会
 - 委員長 飛木 かおる
 - 委員 三上 浩二 中村 崇哉
 - (白金祭)
 - 実行委員長 飛木 かおる
- 会則検討委員会
 - 委員長 大石 尚彦

2022年度 決算報告書

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月 31日

明治学院大学同窓会

貸借対照表

2023年3月31日現在

【現金】	0	【仮受金】	0
【普通預金】	5,254,650	【未払金】	0
【振替預金】	0	【別途積立金】	-
【未収入金】	0	【設立準備金】	3,000,000
【過年度未經勘定】	0	【予算未消化繰越金】	0
【仮払金】	0	【未処分剰余金】	2,254,650
		【次年度繰越金】	-
【合計】	5,254,650	【合計】	5,254,650

[普通預金内訳]

みずほ銀行	高輪台支店	No. 1019185	5,254,650円
三井住友銀行	横浜駅前支店	No. 8958750	0円

収 支 報 告 書(一般会計)

自2022年4月1日至 2023年3月31日

【 収 入 】	予 算 額	決 算 額	【 支 出 】	予 算 額	決 算 額
前期繰越金	194,550	0	交通費	350,000	0
同窓会本部活動資金	2,200,000	2,475,814	通信費	120,000	26,180
利息収入	—	0	保守管理費	230,000	418,330
寄付収入	—	—	支部補助学生支援費	170,000	45,000
雑収入	—	0	手数料	3,000	0
校友会補助金	—	0	会合会議費	320,000	254,000
予算未消化差額	—	0	交流会運営費	500,000	0
			キャリア支援費	0	1,000,000
			白金祭支援運営費	330,000	145,320
			消耗備品費	100,000	365,434
			印刷費	180,000	12,469
			慶弔費	0	0
			寄付金	0	600,000
			雑費	27,000	2,190
			予備費	64,550	0
			費用計	—	2,868,923
			次年度繰越金	—	-393,109
【 合 計 】	<u>2,394,550</u>	<u>2,475,814</u>	【 合 計 】	<u>2,394,550</u>	<u>2,475,814</u>



明治学院大学同窓会

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

TEL:03-5421-5190 FAX:03-3441-0970

E-mail:daigaku-dosokai@meijigakuin-dosokai.jp

URL: <http://meigaku-dosokai.jp/mgu/>